

2019年4月17日 全7頁

Indicators Update

2019年3月貿易統計

輸出数量の減少傾向は継続しているが底打ちの兆しが見られる

経済調査部
研究員 廣野 洋太
エコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 3月の輸出数量は、底打ちするのかが注目されていたが、結果として減少傾向は継続している。ただし、減少ペースは緩やかになっており、底打ちの兆しが見られる。
- 3月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲2.4%と前月（同▲1.2%）からマイナス幅が拡大し、輸入金額は同+1.1%と前月（同▲6.6%）からプラス転換した。貿易収支は5,285億円と2ヶ月連続の黒字となった。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲1.9%と減少した。地域別では、アジア向け（同▲1.0%）、米国向け（同▲1.0%）、EU向け（同▲3.4%）と総じて減少した。ただし1-3月期は春節が攪乱要因となる。そこでアジア向けの輸出数量を1-3月期で均してみると、2018年12月の水準を▲1.3%下回っている。ただし、減少ペースは2018年末頃と比較すれば緩やかになっている。

図表1：貿易統計の概況

		2018年						2019年		
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
原系列 前年比 %	輸出金額	3.9	6.5	▲1.4	8.2	0.1	▲3.9	▲8.4	▲1.2	▲2.4
	コンセンサス									▲2.6
	DIRエコノミスト予想									▲1.0
	輸入金額	14.6	15.4	7.1	20.0	12.5	1.9	▲0.8	▲6.6	1.1
	輸出数量	0.8	1.1	▲4.9	3.8	▲1.9	▲5.8	▲9.0	▲0.6	▲5.6
	価格	3.0	5.4	3.7	4.3	2.1	2.0	0.7	▲0.6	3.4
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	4.1	4.6	▲2.7	10.3	4.2	▲2.2	0.5	▲6.5	0.4
	価格	10.0	10.4	10.1	8.8	7.9	4.1	▲1.4	▲0.1	0.7
	貿易収支	▲2,274	▲4,481	1,241	▲4,563	▲7,391	▲557	▲14,177	3,349	5,285
	輸出金額	0.7	0.0	▲1.6	3.6	▲3.6	▲1.2	▲6.3	7.0	▲1.0
	数量	▲1.1	▲0.4	▲4.1	5.5	▲2.5	▲0.4	▲4.4	6.0	▲1.9
	価格	1.7	0.4	2.6	▲1.8	▲1.1	▲0.8	▲2.0	0.9	1.0
前月比 %	輸入金額	2.7	0.7	▲1.5	6.6	▲2.8	▲4.7	▲4.3	1.8	2.1
	数量	1.9	2.3	▲4.7	7.7	▲2.4	▲1.6	▲0.8	▲2.0	1.3
	価格	0.8	▲1.5	3.3	▲1.0	▲0.4	▲3.2	▲3.5	3.9	0.8
	貿易収支	▲1,038	▲1,527	▲1,555	▲3,650	▲4,161	▲1,597	▲2,922	265	▲1,778
税関長公示レート		110.78	111.33	111.13	112.90	112.99	113.12	109.47	109.66	111.16

(注1) 貿易収支は億円。税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

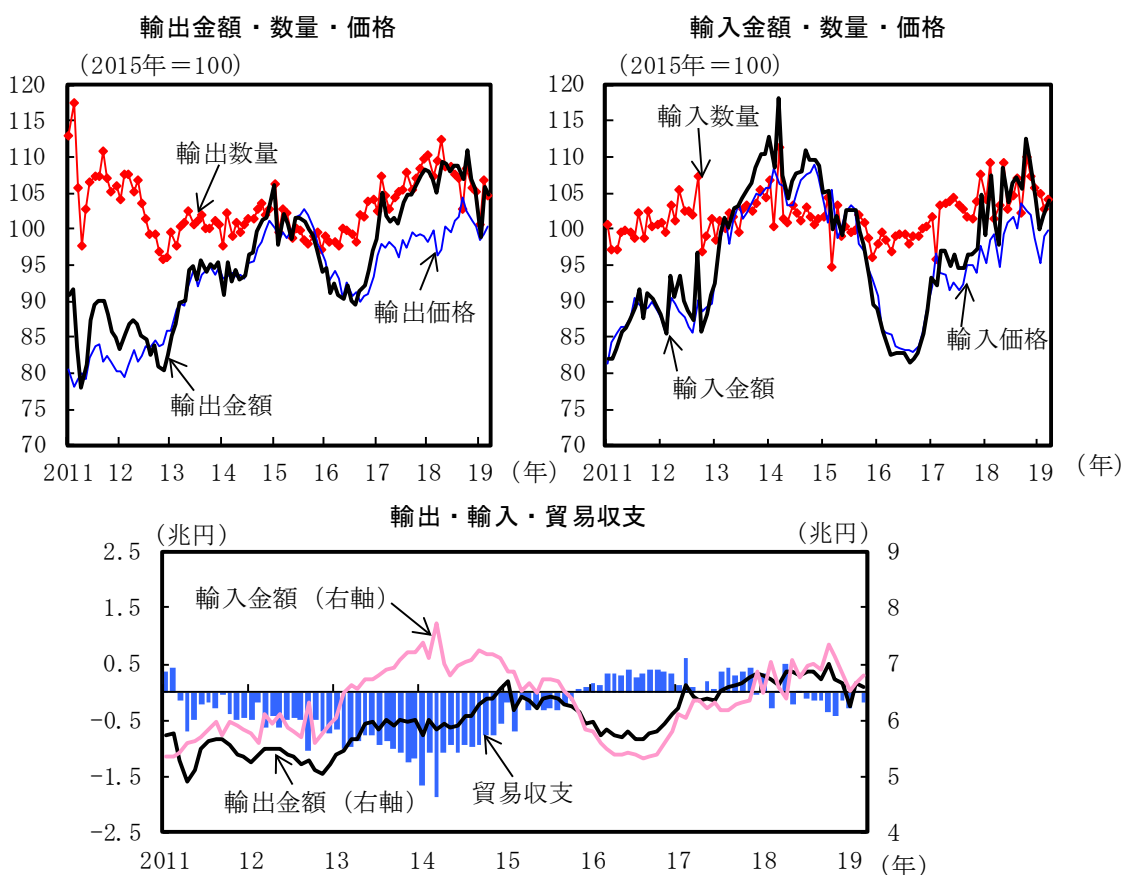
【総括】 輸出金額は数量要因によって前年比マイナス幅を拡大

3月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲2.4%と前月（同▲1.2%）からマイナス幅を拡大し、輸入金額は同+1.1%と前月（同▲6.6%）からプラス転換した。貿易収支は5,285億円と2ヶ月連続の黒字となった。

輸出金額を数量と価格に要因分解すると、数量は前年比▲5.6%と前月（同▲0.6%）からマイナス幅が拡大した。品目別に見ると、船舶が前年比でプラス幅を縮小したことが影響した。後述するようにEUでは2月に船舶の大型輸出が出ており、この反動とみられる。価格については同+3.4%と前月（同▲0.6%）からプラス転換した。品目別に見ると、乗用車の単価が前年比でプラスに転換したことが全体の伸び率を高めた。

輸入金額を数量と価格に要因分解すると、数量は前年比+0.4%と前月（同▲6.5%）からプラス転換した。品目別に見ると、電算機類（含周辺機器）が前年比のプラス幅が拡大した影響が大きかったようだ。価格については同+0.7%と前月（同▲0.1%）からプラスに転換している。品目別では、原油及び粗油の単価が前年比でプラスに転換したことが影響したものとみられる。

図表2：貿易収支、輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（全て季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

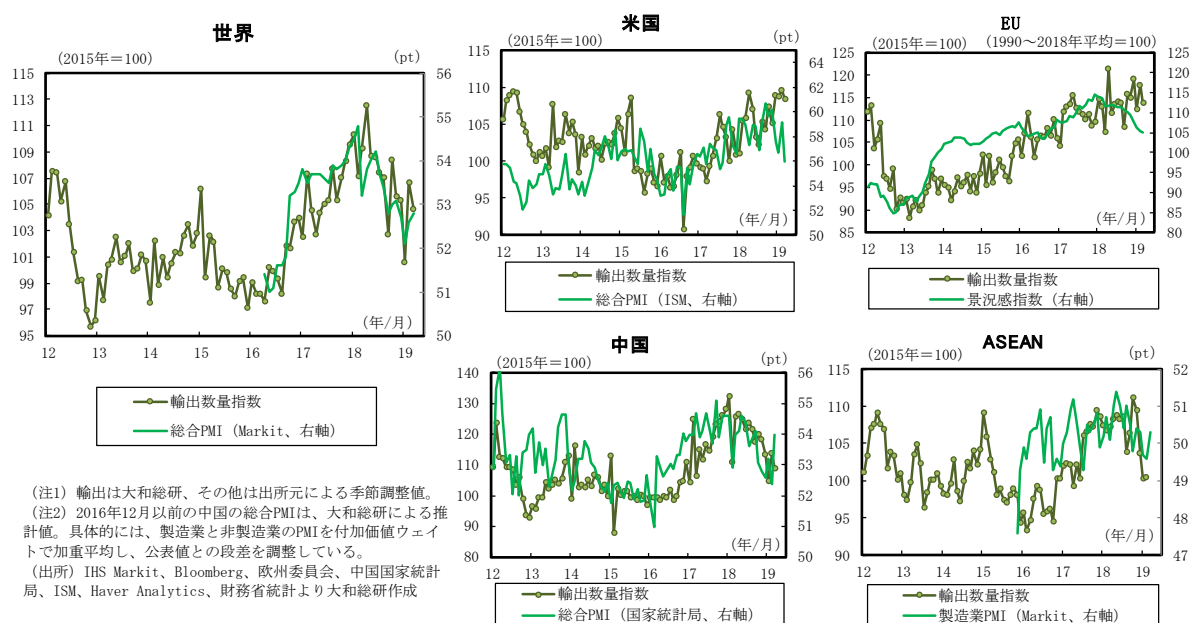
【輸出】減少傾向は継続しているが底打ちの兆しが見られる

輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲1.9%と減少した。3月の輸出数量は、底打ちするのかが注目されていたが、結果として減少傾向は継続している。ただし、減少ペースは緩やかになっており、底打ちの兆しが見られる。

地域別では、アジア向け（同▲1.0%）、米国向け（同▲1.0%）、EU向け（同▲3.4%）と総じて減少した。ただし1-3月期は春節が攪乱要因となる。そこでアジア向けの輸出数量を1-3月期で均してみると、2018年12月の水準を▲1.3%下回っている。ただし、減少ペースは2018年末頃と比較すれば緩やかになっている。米国では、半導体等製造装置が全体の減少に寄与した。米国向けの半導体等製造装置は、2019年に入り急増していたが3月は一旦足踏みとなった。EUでは自動車の部分品と船舶が全体を押し下げた。ただし船舶は振れの大きい項目であり、前月に大幅増となっていた反動とみられる。

なお、1-3月期の輸出数量は前期比▲2.3%と減少した。日本の国内生産は輸出の影響を強く受けるため、1-3月期の実質GDP成長率（1次QE）はマイナス成長となる可能性が高まったと言える。

図表3：世界の景況感と日本の輸出数量



【見通し】輸出数量は緩やかな減少、貿易収支の赤字幅は緩やかに縮小

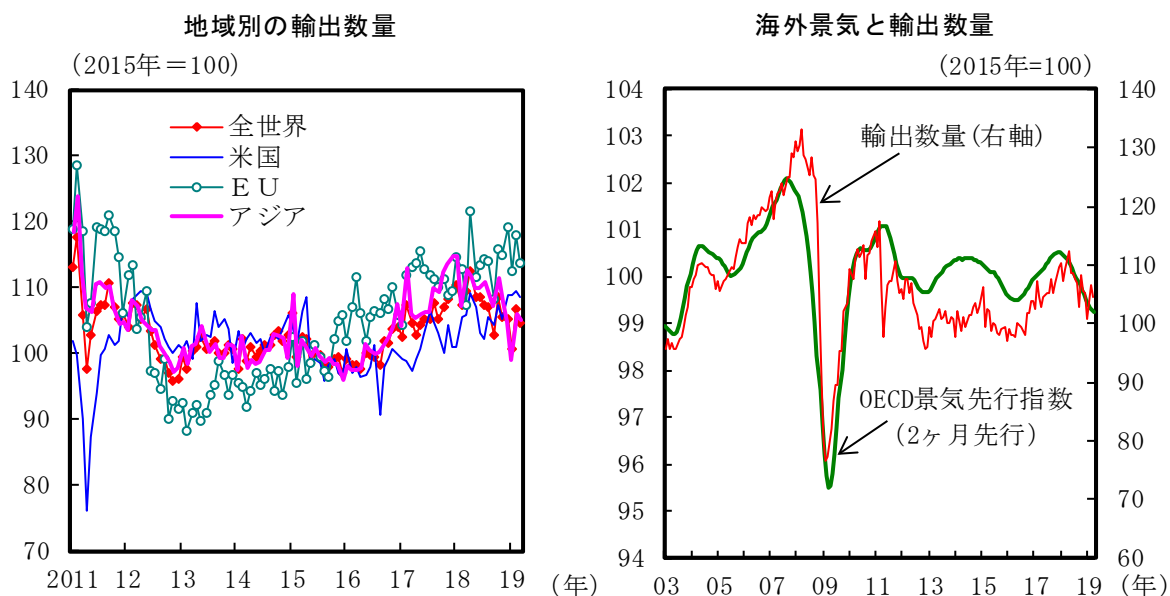
先行きの輸出数量は、世界経済減速の影響を受けて緩やかに減少するとみている。

2018年の米国経済は減税効果によって加速していたが、その影響はすでに剥落し始めている。一方でFRBは金融緩和姿勢を強めており、減速は緩やかなものにとどまるとみている。欧州においてはドイツ、イタリアを中心として外需の弱さが2018年の経済の減速要因となった。もっとも外需の弱さは内需にも波及しており、2019年も下押し要因となる可能性が高い。中国でも2018年は外需が減速要因となったが、米中摩擦や株安によってマインドが冷え込んだ結果、個人消費にも弱さが見られる。もっとも、中国政府は減税策やインフラ投資のための地方政府特別債券の発行などデコ入れに動いていることから、景気減速は緩やかなものにとどまるだろう。

2018年の貿易収支は3年ぶりの赤字となったが、2019年の赤字幅は縮小するとみている。2018年の貿易赤字の背景には①原油価格の上昇、②海外経済の減速、③国内生産の供給制約が挙げられる。

赤字化の主因である①原油価格については再び上昇しているものの、直近のピークと比べれば低水準にあり、現状が維持されるならば赤字幅も縮小する可能性が高い。ただし②、③は当面継続する可能性が高く、貿易収支の赤字縮小ペースは極めて緩やかなものにとどまるだろう。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



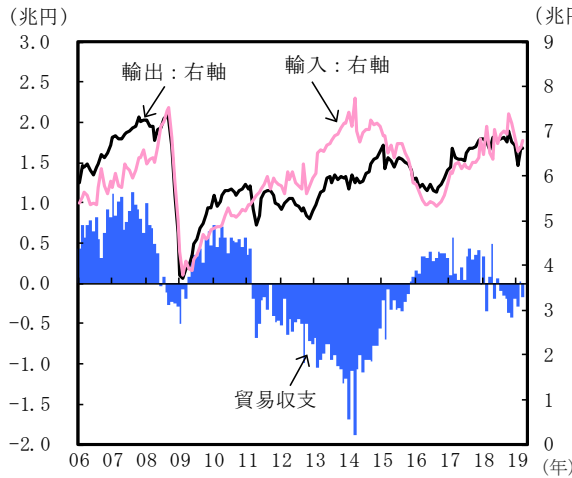
(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

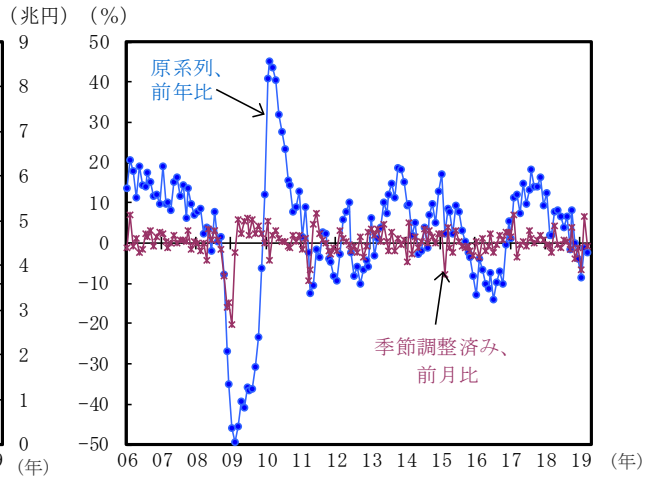
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

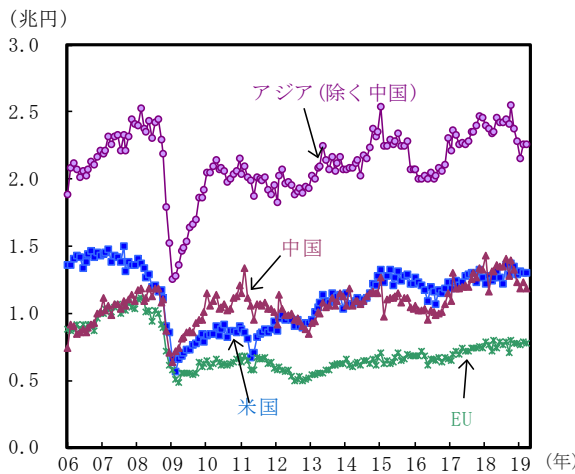


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

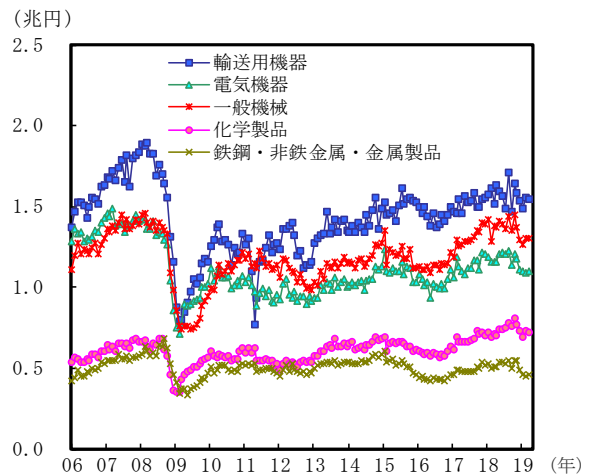


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

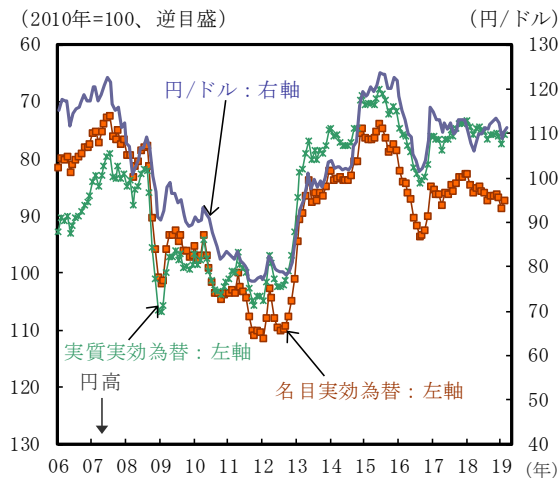


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）



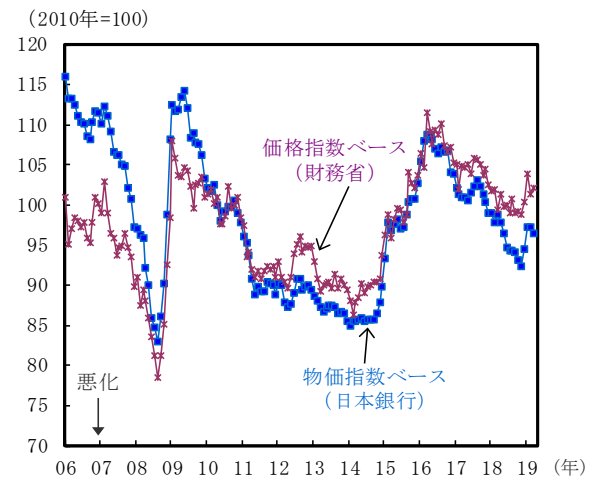
為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2018/10	2018/11	2018/12	2019/01	2019/02	2019/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.2	0.1	▲3.9	▲8.4	▲1.2	▲2.4	100.0	▲2.4
食料品	14.6	11.2	▲2.8	▲5.1	23.3	8.6	1.0	0.1
原料品	7.2	1.2	▲1.1	▲14.8	▲6.4	0.1	1.4	0.0
鉱物性燃料	21.7	▲1.8	9.8	17.3	19.4	19.7	1.5	0.2
化学製品	13.4	8.2	4.2	▲4.1	4.6	0.6	11.0	0.1
原料別製品	9.2	2.9	▲5.2	▲10.9	▲4.7	▲6.8	10.6	▲0.8
鉄鋼	13.5	2.9	▲7.5	▲13.6	▲13.8	▲9.6	3.8	▲0.4
非鉄金属	7.2	0.4	▲10.1	▲19.2	▲10.0	▲12.9	1.8	▲0.3
金属製品	7.0	3.8	▲0.6	▲4.7	0.5	▲4.2	1.6	▲0.1
一般機械	7.7	▲2.3	▲6.6	▲10.7	1.7	▲5.4	21.4	▲1.2
電気機器	8.2	▲2.6	▲7.4	▲8.0	▲5.6	▲5.2	16.3	▲0.9
半導体等電子部品	10.5	▲0.1	▲8.2	▲3.6	▲10.7	▲7.6	4.4	▲0.4
I C	12.3	1.2	▲9.8	▲5.0	▲11.0	▲6.6	3.1	▲0.2
映像機器	▲7.1	6.5	13.7	▲9.7	▲6.4			
映像記録・再生機器	▲15.9	1.3	4.2	▲19.0	▲15.9	▲27.0	0.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲9.2	▲23.1	▲14.6	▲19.8	▲5.0	▲18.1	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	2.6	▲2.0	▲12.4	▲19.7	▲8.0	▲6.3	2.3	▲0.2
輸送用機器	9.0	2.5	▲0.6	▲5.9	▲3.1	2.4	24.2	0.6
自動車	7.3	▲0.5	▲0.5	1.7	▲5.6	0.6	15.3	0.1
自動車の部分品	5.9	▲3.7	▲2.9	▲3.7	▲5.0	▲7.3	4.7	▲0.4
その他	1.4	▲5.8	▲7.5	▲14.5	▲1.6	▲4.3	12.6	▲0.6
科学光学機器	▲3.5	▲7.3	▲10.3	▲15.8	▲8.1	▲12.2	2.7	▲0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2018/10	2018/11	2018/12	2019/01	2019/02	2019/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	11.6	1.6	1.6	6.9	2.0	4.4	100.0	4.4
食料品	▲1.0	6.3	▲0.9	32.9	20.4	10.6	0.7	0.1
原料品	20.6	28.6	7.5	12.7	24.1	▲34.7	0.6	▲0.3
鉱物性燃料	▲85.3	13.7	56.4	▲52.6	▲36.6	210.3	0.7	0.5
化学製品	26.4	2.4	32.8	26.3	20.5	▲2.4	6.1	▲0.2
原料別製品	8.6	▲0.1	▲7.8	▲0.6	0.7	12.4	6.6	0.8
鉄鋼	14.1	5.9	▲28.9	▲7.6	0.1	21.4	1.5	0.3
非鉄金属	16.7	▲0.8	6.3	▲0.5	▲13.5	34.8	0.8	0.2
金属製品	▲2.5	▲10.5	▲12.0	▲2.0	4.1	4.4	1.5	0.1
一般機械	13.5	7.3	3.0	6.9	10.2	8.9	24.6	2.1
電気機器	15.2	▲0.8	2.1	4.7	▲1.5	▲0.7	13.3	▲0.1
半導体等電子部品	▲8.9	▲19.5	▲13.7	▲8.9	▲2.9	▲1.8	1.5	▲0.0
I C	▲8.9	▲13.9	▲13.9	▲7.4	▲9.2	▲9.9	0.7	▲0.1
映像機器	21.5	6.4	30.0	34.4	15.1			
映像記録・再生機器	10.0	2.9	18.0	30.0	0.5	▲2.7	0.5	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲37.6	7.8	29.9	23.2	▲19.4	▲13.4	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	17.6	8.5	8.5	▲1.3	6.3	2.7	1.4	0.0
輸送用機器	7.9	▲4.9	▲3.8	9.4	▲4.8	2.2	37.4	0.8
自動車	7.6	▲5.2	▲2.6	12.9	▲6.8	5.1	28.2	1.4
自動車の部分品	▲2.5	▲7.8	▲1.8	▲3.3	▲5.0	▲9.4	6.0	▲0.6
その他	15.7	21.8	7.4	▲6.5	8.0	7.2	10.0	0.7
科学光学機器	6.5	9.7	2.5	▲11.4	3.8	▲4.4	2.1	▲0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2018/10	2018/11	2018/12	2019/01	2019/02	2019/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	7.7	3.8	3.9	▲2.5	2.5	7.3	100.0	7.3
食料品	48.1	11.8	▲4.9	2.1	39.7	5.0	0.4	0.0
原料品	▲5.5	35.3	▲14.0	▲19.4	▲6.3	▲9.2	0.9	▲0.1
鉱物性燃料	176.6	28.2	▲12.5	213.7	51.2	780.3	0.9	0.8
化学製品	5.5	5.0	12.8	3.6	0.5	4.8	9.5	0.5
原料別製品	5.3	4.2	▲3.5	▲3.9	▲9.1	▲8.1	5.9	▲0.6
鉄鋼	▲9.3	▲3.5	▲36.7	38.2	▲6.3	▲18.5	0.7	▲0.2
非鉄金属	21.8	0.4	▲26.9	▲40.1	▲29.2	▲22.5	0.7	▲0.2
金属製品	13.2	15.2	28.3	5.5	▲6.0	1.5	1.4	0.0
一般機械	9.4	0.2	2.4	▲2.4	2.8	1.2	23.9	0.3
電気機器	7.8	5.8	▲6.2	0.1	▲5.0	▲1.2	16.9	▲0.2
半導体等電子部品	▲5.2	▲7.6	▲17.5	▲12.4	▲16.3	▲9.5	1.9	▲0.2
I C	▲9.3	▲15.8	▲28.9	▲20.7	▲25.4	▲19.9	0.9	▲0.2
映像機器	▲17.6	16.0	9.2	▲9.0	▲17.3			
映像記録・再生機器	▲10.3	30.5	29.6	▲6.3	▲14.3	▲16.8	0.5	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲16.2	▲6.2	▲23.2	▲28.7	▲16.3	▲12.5	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	4.4	1.0	▲14.8	▲8.6	▲10.0	▲12.2	1.6	▲0.2
輸送用機器	▲1.1	0.3	13.7	▲5.7	▲2.0	9.5	25.9	2.4
自動車	0.0	1.2	24.4	13.6	5.1	24.0	16.2	3.4
自動車の部分品	4.8	▲15.1	2.4	10.1	0.8	▲7.8	5.4	▲0.5
その他	19.4	9.7	3.2	▲5.7	28.0	32.5	15.7	4.1
科学光学機器	9.5	12.2	▲7.3	▲6.5	▲3.1	5.8	3.3	0.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2018/10	2018/11	2018/12	2019/01	2019/02	2019/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	7.3	▲1.9	▲6.9	▲13.1	▲1.8	▲5.5	100.0	▲5.5
食料品	17.5	15.6	3.0	▲8.9	31.4	11.4	1.3	0.1
原料品	6.5	▲3.3	▲0.4	▲16.8	▲7.9	7.8	2.1	0.1
鉱物性燃料	59.9	0.3	1.3	▲4.0	4.7	▲21.3	1.4	▲0.3
化学製品	12.7	9.4	▲0.7	▲9.4	4.6	0.0	15.2	0.0
原料別製品	7.7	2.2	▲5.2	▲14.6	▲5.2	▲10.8	13.5	▲1.5
鉄鋼	12.1	1.4	▲5.0	▲17.2	▲14.3	▲15.6	5.2	▲0.9
非鉄金属	6.0	▲0.1	▲10.8	▲19.0	▲8.4	▲15.5	2.8	▲0.5
金属製品	2.7	4.9	▲3.2	▲7.7	▲0.7	▲7.7	1.7	▲0.1
一般機械	3.8	▲7.4	▲12.5	▲19.7	1.5	▲9.8	22.1	▲2.3
電気機器	7.0	▲4.3	▲10.4	▲12.0	▲7.1	▲7.0	20.1	▲1.4
半導体等電子部品	12.6	1.6	▲7.4	▲2.7	▲10.9	▲7.8	7.3	▲0.6
I C	14.2	2.4	▲8.9	▲4.2	▲10.5	▲5.9	5.3	▲0.3
映像機器	▲18.9	0.4	4.9	▲29.9	▲13.0			
映像記録・再生機器	▲29.8	▲13.0	▲11.9	▲39.5	▲22.7	▲38.6	0.3	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲3.5	▲29.1	▲22.5	▲29.7	▲0.2	▲19.5	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	1.3	▲4.1	▲15.7	▲23.3	▲9.5	▲7.6	3.3	▲0.3
輸送用機器	12.9	2.0	1.9	▲4.5	▲1.7	6.2	9.8	0.5
自動車	19.2	▲8.2	▲5.9	▲2.4	▲2.3	▲3.1	4.2	▲0.1
自動車の部分品	14.2	7.0	▲2.7	▲9.2	▲6.7	▲6.1	3.7	▲0.2
その他	▲1.7	▲8.9	▲9.6	▲14.5	▲3.8	▲5.2	14.5	▲0.7
科学光学機器	▲7.4	▲14.2	▲13.7	▲18.2	▲12.4	▲17.8	3.2	▲0.7

中国向け輸出金額 内訳								
	2018/10	2018/11	2018/12	2019/01	2019/02	2019/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.0	0.3	▲7.0	▲17.4	5.6	▲9.4	100.0	▲9.4
食料品	47.2	33.9	33.1	▲6.4	105.5	8.9	0.8	0.1
原料品	9.7	1.8	3.7	▲34.2	▲26.1	▲2.1	2.3	▲0.0
鉱物性燃料	88.4	94.6	85.0	17.4	89.2	7.3	1.0	0.1
化学製品	16.4	10.9	3.3	▲11.5	11.7	▲1.2	16.7	▲0.2
原料別製品	2.1	0.0	▲9.4	▲20.5	6.5	▲14.8	11.2	▲1.8
鉄鋼	12.3	13.8	▲8.7	▲21.8	▲9.6	▲15.5	3.1	▲0.5
非鉄金属	▲4.6	▲13.4	▲13.3	▲21.1	12.9	▲30.1	2.5	▲1.0
金属製品	0.7	▲2.2	▲7.0	▲10.9	10.0	▲9.6	1.7	▲0.2
一般機械	9.9	▲0.7	▲12.7	▲26.6	16.3	▲13.9	25.9	▲3.8
電気機器	4.9	▲8.8	▲14.8	▲20.9	▲10.8	▲13.3	19.9	▲2.8
半導体等電子部品	17.8	4.8	▲9.5	▲1.5	▲19.5	▲16.7	5.9	▲1.1
I C	22.2	7.8	▲10.7	1.8	▲24.5	▲22.4	4.1	▲1.1
映像機器	▲12.5	7.1	20.0	▲33.0	▲22.9			
映像記録・再生機器	▲28.3	▲12.2	▲8.5	▲49.0	▲38.5	▲45.3	0.4	▲0.3
音響・映像機器の部分品	3.9	▲35.0	▲20.3	▲32.9	12.4	▲19.0	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	▲8.3	▲13.3	▲25.7	▲38.9	▲9.2	▲13.0	3.5	▲0.5
輸送用機器	25.6	5.6	▲6.4	▲5.9	0.6	▲0.6	9.6	▲0.1
自動車	30.5	▲3.8	▲6.5	2.7	17.3	19.8	4.5	0.7
自動車の部分品	19.4	12.4	▲6.3	▲12.5	▲13.3	▲13.7	4.9	▲0.7
その他	▲4.2	▲4.4	▲1.9	▲6.7	7.7	▲7.0	12.7	▲0.9
科学光学機器	▲5.4	▲15.1	▲11.7	▲16.0	▲12.0	▲23.7	4.7	▲1.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成